



内灘高だより

令和4年度
第8号
NO. 1



本校HPへ

時を守り、場を清め、礼を正す

うち なた こう (UD デジタル教科書体 font 使用)

内高祭 Memory of Best Friends



内高祭(11/2,3)は新型コロナウイルス感染が広がる厳しい状況のなか、感染対策を徹底してステージ発表、模擬店が企画されました。生徒全員企画でオリジナルのうちわを作成し体育館に掲示したり、各模擬店の横には「私の好きな一文字」と選んだ理由を書き掲示しました。一人ひとりの個性を大切に文化祭となりました。



自転車競技、バドミントン、ボウリング、サッカー、ソフトテニス、軽音学が新人大会や講習会に参加しました。自転車競技部は個人・団体で男女とも優勝を果たしました。バドミントン部は男子団体で初のベスト16に入り、個人戦でも健闘しました。どの競技も日ごろの練習の成果を発揮し汗を流しました。

新人大会

結果詳細はホームページへ→



後期生徒会役員認証式

10月末の生徒会役員選挙で選ばれた7名の認証式が11月3日(木)に行われました。

がんばってください!

生徒会長(21H)宮本 碧
副会長(22H)水瀧龍成
副会長(12H)岩崎雅也

書記(22H)上田勇煌
書記(11H)山田怜奈
会計(22H)吉田竜也
会計(11H)恒吉 樹



認証式





内灘高だより

令和4年度
第8号
NO.2



本校HPへ

時を守り、場を清め、礼を正す

うち なた こう (UD デジタル教科書体 font 使用)

3年 スクールカウンセラー講演会



11/9 (水) 本校のスクールカウンセラー 安田幸先生の講演で、コミュニケーションの3つのスタイルについて話されました。

- ①攻撃的なコミュニケーション
- ②主張的なコミュニケーション
- ③非主張的・受動的コミュニケーション

*お互いの権利を尊重する②が望ましい

2年進路ガイダンス 11/9 県内の各大学・短期大学・専門学校・各分野の企業より講師をお招きし行われました。生徒は進学・就職にわかれ複数の分野、職種などのガイダンスを選択し話を聞きました。



「トップが語る石川の産業の魅力」



(株)石野製作所
石野晴紀 社長

11/9 県内企業トップの石野製作所の回転寿司ベルトコンベアが全国60%のシェアを占め、世界へと成長していったことから仕事のやりがい、チャレンジ精神、リーダーシップ、石川の産業の魅力等について講演していただきました。 **1年**

1年 若年層向けDV予防啓発セミナー



講師:Wen-Do Japan代表 福多 唯 様

11/16 福多様は自分らしさを大切にすると人と良い関係を作るには、相手と対等な関係を保つことが大切だと話されました。そして、悩みは一人で抱えず、早く誰かに相談すること、問題解決3ステップとして①観察②考察③確認を大切にしてほしいと話されました。

1年看護の出前講座

11/16 看護師という職業についてや、実際の病院勤務について具体的にお話いただきました。命と向き合う緊急医療の現場や、高齢者の方の嚥下障害と向き合いサポートする様子についての話は本当に貴重な内容でした。

金沢医科大学病院 石宮 頼子 様
摂食・嚥下障害看護認定看護師

金沢医科大学病院 主任看護師
甘谷 顕一郎 様



3年生活設計・家計設計/金融トラブルセミナー

11/16 成年年齢が引き下げられたことに伴い、様々な契約が一人でできるようになった。生徒が卒業後の生活設計を考え、家計管理の能力を身につけ、金融トラブルを回避する方法を学びました。



講師:池田寿美恵様(内灘町町民福祉部)
講師:岡田慶介様
(SMBCコンシューマーファイナンス)

先輩訪問

平成17年度卒業(第17期) 表 真央(塚本)さん
金沢医科大学病院 看護師

高校卒業後の進路は、両親のすすめもあり北陸学院短期大学(当時)へ進学しました。卒業後は、空間デザインに興味があり県内の住宅会社に営業として就職しました。お客様にとって、どの住宅会社にするかという選択はとても重要なことです。大切な家づくりを、自分を通して任せていただけることは本当にありがたかったし、大きな責任も感じていました。そして、お客様が幸せになれる家と一緒に作っていただけることにとってもやりがいを感じていました。

ただ、時間を惜しまず働いているなかで、将来を考えたときに、今の生活を一生続けられるかと自問自答した結果、資格を持ち一生続けられる仕事で、やりがいのある仕事に就きたいと思い看護師を目指して転職を決意しました。

看護学校を卒業し、今年で看護師9年目です。その間に結婚、出産、引越しと人生の大きな節目がありました。今は、夫と男の子2人(4才・8才)の4人暮らしです。子どもが活発に成長する時期に、新型コロナウイルス感染症がはじまり、マスク生活や、ワクチン接種、コロナ禍の集団生活のルールなど、子どもがストレスを感じているのを見て、子どもの心と身体の健やかな成長のために、親として人として子どもたちのためにできることを考え行動するようになりました。

看護師としては、患者さんの気持ちに寄り添い、安心して治療を受けていただけたとき充実感を感じます。また、外来ではまれに、患者さんの様態が急変することがあります。そんな時、同僚と連携して適切な対応をして次の治療につなげられたとき、チームワークの結束を感じます。これからも、患者さんから信頼される看護師を目指して、初心を忘れず頑張りたいと思います。



大きなクリスマスツリーに子ども達への愛がいっぱい...